

# 児童生徒1人1台の学習用パソコンの導入について

## ～ 教職員の皆さんへ ～

新しい時代を担う子供たちが、高度に情報化した社会で活躍していくためには、情報端末を使いこなし、多様な情報の中から必要な情報を取捨選択し、課題を解決していく能力が必ず必要になります。

神戸市では、子供たちの学びを支え、能力を最大限引き出すためのツールとして、児童生徒一人一人に学習用パソコンを貸与し、授業や家庭での学習に活用します。



### 目的

**主体性**

自ら学び、自ら考える姿勢を育みます

**協働学習**

他者の考えを理解・尊重する社会性を育みます

**深い学び**

実社会の課題解決につながる学びを推進します

### パソコンの運用について

- ①パソコンは充電コードとあわせて、児童生徒に**貸与**します。(充電コードは1台につき2本ありますが、1本は充電保管庫の中に常設します。)
- ②学年が上がる時は持ち上がりますが、**卒業又は転校時には充電コードと一緒に返却**してもらいます。卒業により返却されたパソコンは、翌年度の新入生に貸与することになります。
- ③万が一、破損・紛失した場合は、原則として保険で対応します。(児童生徒には予備機を渡します。)
- ④充電保管庫の中では、自動的に時間を区切って**夜間に充電**を行います。個別に充電が必要な場合は、充電保管庫のスイッチを切り替えてください。
- ⑤無線LANアクセスポイントのある場所において、インターネット接続が可能です。屋外などオフラインの状態でも、一部の機能(カメラ等)は利用できます。

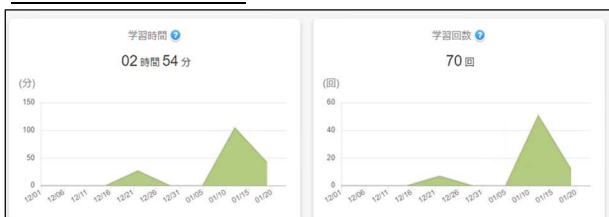
### こんなことが可能になります！

#### ◆デジタル教材の活用



デジタル教科書などを活用し、視覚的な理解を促します。

#### ◆学習履歴の活用



パソコンで子供たち一人一人の学習履歴を把握し、学習指導等に活かします。

#### ◆グループ学習での活用



SKYMENU Cloud を利用し、ワークシートの配布・回収が簡単にできます。

#### ◆カメラを利用した学びあい

子供たち自身で撮影、録画できます。



**工夫次第で校内の様々な場面で活用できます。**

## グループ学習での活用例

小学6年生算数「複雑な形のおおよその面積を求める」  
(※画像は他都市事例)

### ①「めあて」の確認（教科書）



### ②課題提示



- ・教材を大きく投影
- ・デジタルのワークシートを児童のパソコンに配付

### ③自分で考え、表現する



- ・児童が自分の考えをタッチペンで直接書きこむ

### ④グループで考えを交流する



- ・グループワーク機能を活用し、ワークシートを集約

### ⑤一人一人の状況把握（教員）



- ・一覧画面で全児童の考えをリアルタイムで把握可能（保存も可）

### ⑥グループごとの発表



- ・板書不要のため、多くのグループの発表が可能

## 家庭学習での活用について

- ①パソコンは家庭に持ち帰り、宿題など家庭学習でも使用します。
- ②持ち帰った場合は**家庭で充電**します。（充電切れの状態からフル充電までの電気代は約3円）
- ③家庭にWi-Fi環境がある場合は、回線を使用しても構いません。
- ④学年に応じたフィルタリング設定を行っています。また、**閲覧履歴は端末に記録**されます。
- ⑤子供たちが主体的に学習しやすいような設定としています。学年に応じて、「**情報モラル**」（情報を扱う上での**ルールやマナー**）の大切さについてあわせて指導してください。

### ◆デジタルドリル

- ・自動採点が可能なドリルにより、基礎学力の定着をはかります。
- ・自分のペースで進めることや学年をさかのぼった復習もできます。



### ◆オンライン学習

- ・臨時休業時等には、端末をオンライン学習に活用します。
- ・学年に応じて個別面談やホームルーム、授業の配信等を行います。



## 【教職員の皆さんへ】 子供たちの「学び」の世界が大きく広がります！

- ◆1人1台パソコンの学習環境が整うことで、学校での教育活動、家庭での学習が大きく変わります。最初は負担に感じるかもしれませんが、印刷の負担が減ったり、教材作成の負担が減るなど働き方改革にもつながるものです。
- ◆ぜひ「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組み、子供たちとともに充実した毎日を過ごしてください。